CoreTissue BioEngineering 株式会社

医療・介護福祉・健康　バイオ・アグリ

これまでの再建術は、通常患者さん自身の組織を採取して行うものでした。私たちは、自己の組織を犠牲にすることなく治療が完了する手術を目指しています。脱細胞化した生体組織を利用した「医療機器」を提供し、患者さんの負担を減らします。

得意技術

動物組織から拒絶反応を引き起こす可能性のある細胞成分を除去し、体内で自己組織が再生する足場となる「脱細胞化組織」を用いて、膝前十字靭帯再建術に適用する人工靭帯を開発しています。世界では脱細胞化組織を利用した医療機器は 40 品目ほどありますが、いずれも薄膜や厚みのない組織で、靭帯のような強度が求められる製品は市場にありません。世界初の厚み・強度を持った人工靭帯の商品化を目指しています。

主要事業・主要製品

主要事業：脱細胞化医療機器の開発、製造販売
主要製品：人工靭帯（膝前十字靭帯）クラス4、植込み型医療機器

得意な顧客・市場分野

医療

今後の展開について

自己組織を採取して治療を行うのではなく、自己組織の代替となる人工物を脱細胞技術により作り出すことで、治療に付随する侵襲を極小化します。

SDGs 取組

人工靭帯の出発物質にはウシの肢を用いており、腱を摘出した後の肢は廃棄物となりますが、まずはフードリサイクルのシステムを利用して、メタン発酵によるメタン化と発電に供するフローを検討しています。その次の段階として、コンポスト化して農業用に用いることにより、ロスなく資源循環させる方向で検討を進めます。

グローバルビジネス

より市場の大きい米国は展開先として計画に組み入れ、FDA と既に開発相談を開始しています。

脱細胞マイクロ波加熱装置

エンドトキシンを不活化できる混合ガス滅菌機

受賞実績

2021 年 J-Startup（経産省／ JETRO/NEDO）受賞

公的助成事業　受託

2019 年医工連携事業化推進事業（AMED）、2021 年 CiCLE 事業（AMED）、横浜市中小企業設備等助成金 等

取得資格・認証（ISO 等）

2021 年医療機器製造販売業一種（東京）

主要設備・研究体制

クリーンルーム、脱細胞用マイクロ波発生装置、凍結乾燥機、EOG 滅菌器、混合ガス滅菌器

主要取引先

学校法人早稲田大学、国立研究開発法人日本医療研究開発機構

取引先金融機関

三井住友銀行

名称	コアティシュバイオエンジニアリングカブシキガイシャ CoreTissue BioEngineering 株式会社	代表者	城倉　洋二	担当窓口	城倉　洋二	資本金	100,000 千円	従業員数	9 名
所在地	〒 230-0045 横浜市鶴見区末広町 1-1-43 ライフサイエンス研究センター 301			TEL	045-642-5455	FAX	045-642-5440		
HP	https://www.coretissue.com/			E-mail	yoji.jokura@coretissue.com				